

第 71 回日本泳法大会 二次要項

2026 年 7 月 25 日
公益財団法人日本水泳連盟
日本泳法委員会

1.大会スケジュール

2.自動車での来場について

3.会場でのマナーについて

4.監督者会議について

5.A Dカードについて

6.着用する水着等について

7.棄権の届け出

1.大会スケジュール

1 日目 8 月 22 日 (土)

9 時開場 10 時開会宣言

2 日目 8 月 23 日 (日)

8 時開場 14 時 30 分閉会予定

各プログラムの開始予定時刻と順番は本要項末尾の【大会スケジュールの詳細】を参照

【変更】 泳法競技マスタークラスは大会 1 日目に実施いたします。

2.自動車での来場について

- ・自家用車やレンタカー等で駐車を希望する場合は、案内書（一次要項とともに配付済み）に従い事前登録をすること。
- ・大会当日は一般開放もされているので多くの来場者が見込まれる。この来場者の駐車場入庫の車列が周辺道路含めて午前 10 時前くらいから発生することが見込まれるため、車での来場は時間帯に注意をすること。
- ・水泳場 B 1 F 及び B 2 F、隣接する道路や土地等への駐車は禁止とする（ただし、B 1 F での乗降を伴う停車は可）。

3.会場でのマナーについて

- ・会場内で水着のみ（水着＋水干も水着のみに該当する）でいることが許されるのは、更衣室（トイレ）とプールサイドのみである。その他の場所では観覧席も含め、必ず水着の上に着衣（シャツや短パン等を着用）をしておくこと。水着（水干）のみでプールエリア以外に立ち入った場合（例えば水泳場ロビーの自販機に行くなど）は、退場処分とすることがある。この場合は短パン等を着用すること。

また、観覧席及び通路、観覧席上部通路での着替えは禁止、着替えは必ず更衣室を利用すること。

4.監督者会議について

- ・監督者会議は、8月21日アバローム紀の国にて14時35分から開催する。
- ・資料は、8月16日をめどに日本水泳連盟ホームページ、大会周知ブログに掲載する。
- ・監督者会議には、参加する団体やチームから最低1名が参加する義務がある。団体やチームではない参加形態として、例えば、資格審査や泳法競技マスタークラスにのみ参加する個人であって、他のチームメイトがおらず単独での参加の場合でも当該参加者は監督者会議に出席する義務がある。

5.ADカードについて

- ・大会参加者（競技出場、審査受査、競技役員等関係者）にはすべて配布する。場内では必ず携行しておくこと。

<注意事項> 以前、招集所に集合する際にこのADカードの携行を忘れ、探しに行く間に招集時刻を過ぎた事例があった。原則は上記のとおりだが、そういった場合は、招集担当者に相談をするなどして解決を図ることもありうる。

6.着用する水着等について

- ・用具（水着や帽子等）についている商標については厳密に規定があり、違反者は出場することができないので注意をすること。例年、大会要項に記載があるにも関わらず、招集所で「知らない」という違反者がいる。下記リンクの記載内容を熟読し、違反のないように努めること。

[r_k16_20260401.pdf](#)

【水着の規定に関する参考資料】

I 宣伝・広告の媒体について

1 持ち物についていてもよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で 面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

ロゴマークの種類／用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
上記の（１）～（４）	競泳は50cm ² 以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm ² 以内で1カ所。（注1）	メーカーロゴは40cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm ² 以内で1カ所。	40cm ² 以内で1カ所。	20cm ² 以内で1カ所。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技に おいて、着用できる水着は下記の通りです。

- 1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。 ※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、 決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも 反映されません。
- 2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。
- 3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。 ※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります

※日本泳法大会では、「WA/旧 F I N A」のマークがない水着でも、マーク以外の上記の条件に合致する水着であれば着用可能です。

合致しない水着を着用している場合は、申込した種目や審査等に出場することはできません。

7.棄権の届け出

前日までの届け出は、大会事務局のメールアドレスに届け出する。大会当日は記録室に文書で届け出をすること。ただし、同行者等がない場合は、大会事務局メールアドレスでも受け付ける。

【大会スケジュールの詳細】

※サブプールはアップ利用可能、水深は 1.1 メートル。端から 4 レーン分利用可。

一般の利用者も隣のレーンで泳いでいるので遊泳動作での接触等（特に煽り足がレーンロープからはみ出るなど）のないように注意すること。

1 日目 8 月 2 2 日

A面	B面	C面	サブプール※
10:20 練士資格審査	10:20 泳法競技 ジュニアクラス男子	アップ利用可能	アップ利用可能
11:10 教士資格審査	11:25 泳法競技 ジュニアクラス女子		
11:45 泳法競技 予選 男子平体		11:45 修水資格審査	
予選 男子横体 (終了後) アップ利用可能	12:30 泳法競技 予選 女子平体	12:15 游士資格審査	
	予選 女子横体	12:50 和水資格審査	
14:10 泳法競技 ジュニアクラス表彰	予選 女子立体	13:15 泳法競技 予選 男子立体	
14:35 泳法競技 マスタークラス 1 種目目		(終了後) アップ利用可能	
	14:45 泳法競技 マスタークラス 2 種目目		
15:20 如水・範士資格審査			
15:45 団体泳法競技・団体泳法競技シニアクラス (3 位決定戦、決勝戦を除く対戦)			
		17:20 支重競技	

2日目 8月23日

★横泳ぎ競泳出場者のアップ開始時刻 8時～

(朝の専用アップレーンの区分けについては監督者会議にて示す。)

A面	B面	サブプール※
9:45 横泳ぎ競泳タイム決勝		アップ利用可能
10:30 横泳ぎ競泳・支重競技・ 永年出場者・ 泳法競技マスタークラス表彰		
11:00 団体泳法競技シニアクラス 3位決定戦・決勝		
11:15 団体泳法競技 3位決定戦・決勝		
11:35 泳法競技決勝 女子		
12:25 泳法競技決勝 男子		
13:25 資格審査合格者式泳		
13:45 泳法競技・団体泳法競技・ 団体泳法競技シニアクラス 表彰 閉会宣言		

以上

WEAR to FASHION

水着や衣類回収のお知らせ

昨年同様、今年も日本泳法大会で水着や衣類の回収を行います。使わなくなった水着、ジャージ、一般衣類、バッグ等がございましたら大会受付周辺の回収ボックスにお入れくださいと幸いです。一部回収不可のものがありますので、回収可能品を添付のチラシでご確認ください。回収されたものはリユースまたはリサイクルされます。遠方からのご参加が多い中、お荷物を増やすようで恐縮です。無理のない範囲で結構ですので、当連盟の環境活動にご協力ください。



水着やチームウェア等の 回収活動を行っています！



今まで廃棄するしかなかった 水着 を中心に衣類の再資源化に取り組んでいます。
不要なものがありましたら、ぜひ大会会場までお持ちください。
一人一人の心がけが未来をつくれます！ みんなの力で未来を変えていきましょう！

WEAR FASHION

服の循環で、ファッションと地球の未来を作るプロジェクト



公益財団法人 日本水泳連盟
Japan Aquatics



ECOMMIT

着なくなった水着の、新しい未来。

未来へつなぐ 水着を泳縁に

不要な衣類を回収する『Wear to Fashion』への参画について

公益財団法人日本水泳連盟は、「スポーツによる社会貢献」を掲げ、
水泳を通じた教育や環境問題等、社会に貢献する幅広い活動を推進しています。
活動の一環として、衣類の循環で「捨てない」選択肢を提供し、未来へつなげるプロジェクト
“Wear to Fashion”に賛同し、水着やチームウェア等を回収して
リユース・リサイクルに繋げる取り組みを行っています。

RECYCLE

REUSE

回収対象

SWIMWEAR



水着
競泳用水着

CAP



キャップ
シリコンキャップ、
メッシュキャップ

CLOTHES



衣類
Tシャツ、ポロシャツ、
ジャージ、ハーフパンツ、
トレーニングウェア、パーカーなど

BAG



服飾雑貨
バック(エナメル含む)、
タオル、靴下など

- チーム名、学校名、個人名が入ったものはリユースされず、リサイクルされます。
- 洗濯して乾かしたものををお持ちください。
- ポケットの中などに貴重品がないかなどをご確認の上、お持ちください。
- 回収された商品の返却はいたしかねます。ご了承ください。
- 一部回収できないものもあります。ご了承ください。

2026年度 回収予定大会

大会名	日程	会場
第102回日本選手権水泳競技大会 AS	5/22(金)～24(日)	東京・東京アクアティクスセンター
第102回日本選手権水泳競技大会 競泳	6/4(木)～7(日)	東京・東京アクアティクスセンター
日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2026	8/7(金)～9(日)	大阪・東和薬品 RACTAB ドーム
第102回日本選手権水泳競技大会 水球	8/13(木)～16(日)	千葉・千葉県国際総合水泳場
第71回日本泳法大会	8/22(土)・23(日)	和歌山・秋葉山公園県民水泳場
第49回全国 JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 AS	8/22(土)～25(火)	神奈川・横浜国際プール
第49回全国 JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 競泳	8/22(土)～26(水)	東京・東京アクアティクスセンター
第49回全国 JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 水球	8/22(土)～26(水)	京都・京都アクアリーナ
第102回日本学生選手権水泳競技大会 競泳	9/3(木)～6(日)	大阪・東和薬品 RACTAB ドーム
第102回日本選手権水泳競技大会 飛込	9/4(金)～6(日)	滋賀・インフリア草薙アクアティクスセンター
第41回日本マスターズ水泳選手権大会	10/8(木)～12(月・祝)	宮城・セントラルスポーツ宮城G21 プール
第68回日本選手権(25m)水泳競技大会	10/10(土)～12(月・祝)	佐賀・SAGAアクア
第102回日本選手権水泳競技大会 OWS	10/17(土)・18(日)	千葉・館山市北条海岸
第9回日本社会人選手権水泳競技大会	10/31(土)・11/1(日)	宮崎・パーソナルアクアパーク宮崎
水泳の日 2026・岩手	11/8(日)	岩手・盛岡市立総合プール
ジャパンオープン 2026(50m)	12/4(金)～6(日)	東京・東京アクアティクスセンター
2026年度翼ジャパンダイビングカップ	2026/3/18(木)～21(日)	栃木・日環アリーナ栃木
第49回全国 JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会 水球	2026/3/26(金)～30(火)	千葉・千葉県国際総合水泳場
第49回全国 JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会 競泳	2026/3/27(土)～30(火)	東京・東京アクアティクスセンター

活動の詳細、実施会場などの最新情報は
日本水泳連盟の環境活動ページからご確認ください。



WEAR to FASHION

ファッション産業における大量廃棄は世界的な問題と捉えられています。日本でも、毎年約50万トンもの衣服が可燃ごみや不燃ゴミとして手放されています。これは、1日あたり1,300トン＝大型トラック130台分にもなりますが、その中で再資源化されているのはわずか5%程度にとどまっています。

そこで、ファッションロス＝衣類廃棄の問題に対する取り組みとして、2022年にWear to Fashion(ウェア・トゥ・ファッション)がスタートしました。

Wear to Fashionは、お客様から衣類を集め、リユースやリサイクルへ繋げる取り組みです。消費者が「捨てない」選択肢としてWear to Fashionに衣類を提供し、企業が責任を持って再利用や再資源化を図る。消費者と企業が一体となり捨てられる衣類を減らす試みです。

詳細はこちらから



回収の流れ



水着



キャップ



衣類



服飾雑貨

WEAR to FASHION

お客様から衣類を集め、
リユース・リサイクルへ繋げます。

サーマル
リカバリー水平
リサイクル

リサイクル

リユース



ECOMMIT



固形燃料(RPF)等



繊維製品等



吸音材・断熱材等(反毛)



リサイクルショップ等